



平成 27 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 江守グループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 江守 清隆
(コード：9963、東証第一部)
問合せ先 常務取締役グループ管理部門担当 揚原 安麿
(TEL 0776-36-9963)

(訂正)「平成 25 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 25 年 1 月 30 日に開示いたしました「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 27 年 3 月 16 日付『平成 27 年 3 月期第 3 四半期報告書の提出』および『過年度有価証券報告書等ならびに内部統制報告書の訂正報告書の提出に関するお知らせ』にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-9963

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	101,443	18.4	2,159	4.8	2,060	9.1	1,283	14.7
24年3月期第3四半期	85,651	25.4	2,061	22.1	1,887	16.0	1,118	17.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,098百万円 (131.3%) 24年3月期第3四半期 474百万円 (△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	122.32	—
24年3月期第3四半期	106.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	60,032	11,548	18.3
24年3月期	57,352	10,819	17.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,970百万円 24年3月期 10,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
25年3月期	—	17.00	—		
25年3月期（予想）				21.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	12.1	3,200	18.3	2,900	14.5	1,900	12.5	181.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）EMORI PHILIPPINES, INC.、除外 1社（社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	10,500,000株	24年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	8,163株	24年3月期	8,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	10,491,847株	24年3月期3Q	10,491,901株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が下支えするなかで、緩やかな回復傾向をたどることが期待されましたが、世界経済の減速に加え、近隣諸国との政治的緊張の高まりから、輸出企業を中心に収益見通しを下方修正する懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社の主要報告セグメントである「ケミカル」セグメントでは、長期化する円高の影響から日本の輸出全般が減少傾向にあり、減益要因となっております。また、タイの洪水で被災した子会社は、操業再開に漕ぎ着けたものの、当第3四半期連結累計期間まで営業損失の計上が続いております。主力拠点である中国においては、外需向けのインド、ASEANへの新規輸出取引が成立するなど、足元の業績については好調であり、引き続き、グループ業績をけん引する見通しであります。「情報機器」セグメントでは、リーマン・ショック後の大幅な投資抑制を経て、更新投資を中心に徐々に設備投資を増やす局面に入っている状況を捉え、増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,014億43百万円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益は21億59百万円（同4.8%増）、経常利益は20億60百万円（同9.1%増）、四半期純利益は12億83百万円（同14.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ケミカル

当第3四半期連結累計期間の売上高は958億89百万円（同17.3%増）、セグメント利益（営業利益）は25億円（同6.2%減）となりました。

内外需ともにスマートフォン向け電子材料の引き合いは好調であり、当社グループの売上をけん引いたしました。また、国内の住宅市場が底堅いことから建材等の販売も堅調に推移いたしました。一方、原発関連や電機業界向け販売は低迷し、自動車業界向け販売はエコカー補助金制度の終了の影響から落ち込みました。地域別では、日本における輸出全般が低調に推移し、タイでは洪水で被災したTHAI USUI CO., LTD. が引き続き営業損失を計上しました。中国においては、資源関連および医薬中間体等の新規取引が活発化し、順調に推移しましたが、日本、タイにおける利益の落ち込みを十分に補填することができず、セグメント全体では増収減益となりました。

②情報機器

当第3四半期連結累計期間の売上高は38億10百万円（同59.7%増）、セグメント利益（営業利益）は3億87百万円（同803.0%増）となりました。

流通業界向けシステムソリューションを提供する株式会社イー・アイ・エルの安定的な収益に加え、システム情報化投資全体も緩やかに持ち直してきており、大型案件等を獲得した結果、増収増益となりました。

③機械設備

当第3四半期連結累計期間の売上高は3億93百万円（同34.2%減）、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同四半期は営業利益16百万円）となりました。

顧客の設備投資計画が保留、または、次年度に延期される案件が発生し、減収減益となりました。

④その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は13億50百万円（同46.9%増）、セグメント利益（営業利益）は5百万円（同32.5%減）となりました。

移動体通信機器の販売では、スマートフォンの販売が好調に推移いたしました。ダストコントロール商品のリースやメディア開発では全般的に厳しい状況が続いた結果、セグメント全体では増収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ26億79百万円増加し、600億32百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより21億48百万円増加しました。固定資産は、有形及び無形固定資産の増加などにより5億30百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ19億50百万円増加し、484億83百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより7億60百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の増加により11億89百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7億28百万円増加し、115億48百万円となりました。利益剰余金が9億16百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が55百万円、為替換算調整勘定が1億34百万円それぞれ減少しました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し18.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新たにEMORI PHILIPPINES, INC. を設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,674,625	5,240,996
受取手形及び売掛金	33,738,073	<u>36,668,799</u>
たな卸資産	6,307,192	6,368,597
繰延税金資産	239,151	186,152
その他	2,355,236	<u>2,980,499</u>
貸倒引当金	△35,000	△17,329
流動資産合計	<u>49,279,278</u>	<u>51,427,715</u>
固定資産		
有形固定資産	3,989,473	4,350,648
無形固定資産		
のれん	104,745	83,144
その他	313,073	518,348
無形固定資産合計	<u>417,818</u>	<u>601,493</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	3,373,358	3,371,297
繰延税金資産	51,880	61,003
その他	309,138	242,991
貸倒引当金	△67,993	△22,996
投資その他の資産合計	<u>3,666,383</u>	<u>3,652,296</u>
固定資産合計	<u>8,073,676</u>	<u>8,604,437</u>
資産合計	<u>57,352,954</u>	<u>60,032,153</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,467,529	15,221,861
短期借入金	19,826,774	18,851,845
1年内返済予定の長期借入金	1,425,609	1,133,438
未払法人税等	388,890	304,483
賞与引当金	307,268	219,494
その他	814,958	1,260,114
流動負債合計	36,231,030	36,991,236
固定負債		
長期借入金	9,352,741	10,484,033
繰延税金負債	716,177	771,683
再評価に係る繰延税金負債	68,730	68,730
退職給付引当金	35,852	42,782
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
負ののれん	2,195	548
その他	9,168	7,080
固定負債合計	10,301,987	11,491,981
負債合計	46,533,017	48,483,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,320	799,320
資本剰余金	1,023,620	1,023,620
利益剰余金	8,416,815	9,332,957
自己株式	△1,770	△1,809
株主資本合計	10,237,985	11,154,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096,370	1,040,918
繰延ヘッジ損益	△963	6,539
土地再評価差額金	125,422	125,422
為替換算調整勘定	△1,221,483	△1,356,435
その他の包括利益累計額合計	△653	△183,554
少数株主持分	582,604	578,401
純資産合計	10,819,936	11,548,935
負債純資産合計	57,352,954	60,032,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	85,651,318	101,443,751
売上原価	79,631,802	95,313,201
売上総利益	6,019,515	6,130,549
販売費及び一般管理費	3,957,935	3,970,788
営業利益	2,061,580	2,159,760
営業外収益		
受取利息	6,889	68,820
受取配当金	65,820	69,482
持分法による投資利益	7,678	5,350
補助金収入	20,678	141,746
その他	58,423	61,831
営業外収益合計	159,489	347,232
営業外費用		
支払利息	265,568	294,914
為替差損	1,956	92,346
その他	65,953	59,664
営業外費用合計	333,478	446,924
経常利益	1,887,590	2,060,068
特別利益		
固定資産売却益	5,607	1,348
特別利益合計	5,607	1,348
特別損失		
災害による損失	—	11,772
固定資産処分損	12,170	14,370
投資有価証券評価損	8,996	999
出資金評価損	—	3,548
特別損失合計	21,166	30,690
税金等調整前四半期純利益	1,872,032	2,030,725
法人税、住民税及び事業税	584,613	646,421
法人税等調整額	145,772	118,937
法人税等合計	730,385	765,359
少数株主損益調整前四半期純利益	1,141,646	1,265,366
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23,112	△17,990
四半期純利益	1,118,534	1,283,356

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,141,646	1,265,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160,449	△55,452
繰延ヘッジ損益	1,855	7,503
土地再評価差額金	9,707	—
為替換算調整勘定	△510,190	△121,413
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,742	2,199
その他の包括利益合計	△666,819	△167,163
四半期包括利益	474,827	1,098,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,504	1,100,455
少数株主に係る四半期包括利益	△13,676	△2,252

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>81,748,269</u>	2,385,516	598,247	<u>84,732,032</u>	919,286	<u>85,651,318</u>	—	<u>85,651,318</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12,395	55,041	83,319	150,757	154,663	305,420	△305,420	—
計	<u>81,760,664</u>	2,440,557	681,566	<u>84,882,789</u>	1,073,949	<u>85,956,739</u>	△305,420	<u>85,651,318</u>
セグメント利益	2,666,795	42,914	16,380	2,726,090	8,061	2,734,151	△672,571	2,061,580

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びブリーチ事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△672,571千円には、セグメント間取引消去56,859千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△729,431千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>95,889,685</u>	3,810,256	393,728	<u>100,093,670</u>	1,350,080	<u>101,443,751</u>	—	<u>101,443,751</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14,839	204,993	160,431	380,265	164,506	544,772	△544,772	—
計	<u>95,904,525</u>	4,015,250	554,160	<u>100,473,936</u>	1,514,586	<u>101,988,523</u>	△544,772	<u>101,443,751</u>
セグメント利益 又は損失(△)	<u>2,500,539</u>	387,526	△3,753	<u>2,884,312</u>	5,444	<u>2,889,756</u>	△729,995	<u>2,159,760</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びブリーチ事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△729,995千円には、セグメント間取引消去28,306千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△758,301千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正前】



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-9963

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	104,739	21.4	2,213	7.4	2,060	9.1	1,283	14.7
24年3月期第3四半期	86,251	25.8	2,061	22.1	1,887	16.0	1,118	17.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,098百万円 (131.3%) 24年3月期第3四半期 474百万円 (△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	122.32	-
24年3月期第3四半期	106.61	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	60,032	11,548	18.3
24年3月期	57,352	10,819	17.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,970百万円 24年3月期 10,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	14.00	-	18.00	32.00
25年3月期	-	17.00	-		
25年3月期(予想)				21.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	11.4	3,200	18.3	2,900	14.5	1,900	12.5	181.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）EMORI PHILIPPINES, INC.、除外 1社（社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	10,500,000株	24年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	8,163株	24年3月期	8,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	10,491,847株	24年3月期3Q	10,491,901株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が下支えするなかで、緩やかな回復傾向をたどることが期待されましたが、世界経済の減速に加え、近隣諸国との政治的緊張の高まりから、輸出企業を中心に収益見通しを下方修正する懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社の主要報告セグメントである「ケミカル」セグメントでは、長期化する円高の影響から日本の輸出全般が減少傾向にあり、減益要因となっております。また、タイの洪水で被災した子会社は、操業再開に漕ぎ着けたものの、当第3四半期連結累計期間まで営業損失の計上が続いております。主力拠点である中国においては、外需向けのインド、ASEANへの新規輸出取引が成立するなど、足元の業績については好調であり、引き続き、グループ業績をけん引する見通しであります。「情報機器」セグメントでは、リーマン・ショック後の大幅な投資抑制を経て、更新投資を中心に徐々に設備投資を増やす局面に入っている状況を捉え、増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,047億39百万円（前年同四半期比21.4%増）、営業利益は22億13百万円（同7.4%増）、経常利益は20億60百万円（同9.1%増）、四半期純利益は12億83百万円（同14.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ケミカル

当第3四半期連結累計期間の売上高は991億85百万円（同20.4%増）、セグメント利益（営業利益）は25億54百万円（同4.2%減）となりました。

内外需ともにスマートフォン向け電子材料の引き合いは好調であり、当社グループの売上をけん引いたしました。また、国内の住宅市場が底堅いことから建材等の販売も堅調に推移いたしました。一方、原発関連や電機業界向け販売は低迷し、自動車業界向け販売はエコカー補助金制度の終了の影響から落ち込みました。地域別では、日本における輸出全般が低調に推移し、タイでは洪水で被災したTHAI USUI CO., LTD. が引き続き営業損失を計上しました。中国においては、資源関連および医薬中間体等の新規取引が活発化し、順調に推移しましたが、日本、タイにおける利益の落ち込みを十分に補填することができず、セグメント全体では増収減益となりました。

②情報機器

当第3四半期連結累計期間の売上高は38億10百万円（同59.7%増）、セグメント利益（営業利益）は3億87百万円（同803.0%増）となりました。

流通業界向けシステムソリューションを提供する株式会社イー・アイ・エルの安定的な収益に加え、システム情報化投資全体も緩やかに持ち直してきており、大型案件等を獲得した結果、増収増益となりました。

③機械設備

当第3四半期連結累計期間の売上高は3億93百万円（同34.2%減）、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同四半期は営業利益16百万円）となりました。

顧客の設備投資計画が保留、または、次年度に延期される案件が発生し、減収減益となりました。

④その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は13億50百万円（同46.9%増）、セグメント利益（営業利益）は5百万円（同32.5%減）となりました。

移動体通信機器の販売では、スマートフォンの販売が好調に推移いたしました。ダストコントロール商品のリースやメディア開発では全般的に厳しい状況が続いた結果、セグメント全体では増収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ26億79百万円増加し、600億32百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより21億48百万円増加しました。固定資産は、有形及び無形固定資産の増加などにより5億30百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ19億50百万円増加し、484億83百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより7億60百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の増加により11億89百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7億28百万円増加し、115億48百万円となりました。利益剰余金が9億16百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が55百万円、為替換算調整勘定が1億34百万円それぞれ減少しました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し18.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新たにEMORI PHILIPPINES, INC. を設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,674,625	5,240,996
受取手形及び売掛金	33,738,073	<u>37,903,811</u>
たな卸資産	6,307,192	6,368,597
繰延税金資産	239,151	186,152
その他	2,355,236	<u>1,745,487</u>
貸倒引当金	△35,000	△17,329
流動資産合計	<u>49,279,278</u>	<u>51,427,715</u>
固定資産		
有形固定資産	3,989,473	4,350,648
無形固定資産		
のれん	104,745	83,144
その他	313,073	518,348
無形固定資産合計	<u>417,818</u>	<u>601,493</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	3,373,358	3,371,297
繰延税金資産	51,880	61,003
その他	309,138	242,991
貸倒引当金	△67,993	△22,996
投資その他の資産合計	<u>3,666,383</u>	<u>3,652,296</u>
固定資産合計	<u>8,073,676</u>	<u>8,604,437</u>
資産合計	<u>57,352,954</u>	<u>60,032,153</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,467,529	15,221,861
短期借入金	19,826,774	18,851,845
1年内返済予定の長期借入金	1,425,609	1,133,438
未払法人税等	388,890	304,483
賞与引当金	307,268	219,494
その他	814,958	1,260,114
流動負債合計	36,231,030	36,991,236
固定負債		
長期借入金	9,352,741	10,484,033
繰延税金負債	716,177	771,683
再評価に係る繰延税金負債	68,730	68,730
退職給付引当金	35,852	42,782
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
負ののれん	2,195	548
その他	9,168	7,080
固定負債合計	10,301,987	11,491,981
負債合計	46,533,017	48,483,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,320	799,320
資本剰余金	1,023,620	1,023,620
利益剰余金	8,416,815	9,332,957
自己株式	△1,770	△1,809
株主資本合計	10,237,985	11,154,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096,370	1,040,918
繰延ヘッジ損益	△963	6,539
土地再評価差額金	125,422	125,422
為替換算調整勘定	△1,221,483	△1,356,435
その他の包括利益累計額合計	△653	△183,554
少数株主持分	582,604	578,401
純資産合計	10,819,936	11,548,935
負債純資産合計	57,352,954	60,032,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	86,251,779	104,739,865
売上原価	80,232,263	98,555,480
売上総利益	6,019,515	6,184,385
販売費及び一般管理費	3,957,935	3,970,788
営業利益	2,061,580	2,213,597
営業外収益		
受取利息	6,889	14,984
受取配当金	65,820	69,482
持分法による投資利益	7,678	5,350
補助金収入	20,678	141,746
その他	58,423	61,831
営業外収益合計	159,489	293,395
営業外費用		
支払利息	265,568	294,914
為替差損	1,956	92,346
その他	65,953	59,664
営業外費用合計	333,478	446,924
経常利益	1,887,590	2,060,068
特別利益		
固定資産売却益	5,607	1,348
特別利益合計	5,607	1,348
特別損失		
災害による損失	—	11,772
固定資産処分損	12,170	14,370
投資有価証券評価損	8,996	999
出資金評価損	—	3,548
特別損失合計	21,166	30,690
税金等調整前四半期純利益	1,872,032	2,030,725
法人税、住民税及び事業税	584,613	646,421
法人税等調整額	145,772	118,937
法人税等合計	730,385	765,359
少数株主損益調整前四半期純利益	1,141,646	1,265,366
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23,112	△17,990
四半期純利益	1,118,534	1,283,356

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,141,646	1,265,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160,449	△55,452
繰延ヘッジ損益	1,855	7,503
土地再評価差額金	9,707	—
為替換算調整勘定	△510,190	△121,413
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,742	2,199
その他の包括利益合計	△666,819	△167,163
四半期包括利益	474,827	1,098,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,504	1,100,455
少数株主に係る四半期包括利益	△13,676	△2,252

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>82,348,729</u>	2,385,516	598,247	<u>85,332,492</u>	919,286	<u>86,251,779</u>	—	<u>86,251,779</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12,395	55,041	83,319	150,757	154,663	305,420	△305,420	—
計	<u>82,361,125</u>	2,440,557	681,566	<u>85,483,249</u>	1,073,949	<u>86,557,199</u>	△305,420	<u>86,251,779</u>
セグメント利益	2,666,795	42,914	16,380	2,726,090	8,061	2,734,151	△672,571	2,061,580

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びブリーフ事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△672,571千円には、セグメント間取引消去56,859千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△729,431千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>99,185,799</u>	3,810,256	393,728	<u>103,389,785</u>	1,350,080	<u>104,739,865</u>	—	<u>104,739,865</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14,839	204,993	160,431	380,265	164,506	544,772	△544,772	—
計	<u>99,200,639</u>	4,015,250	554,160	<u>103,770,050</u>	1,514,586	<u>105,284,637</u>	△544,772	<u>104,739,865</u>
セグメント利益 又は損失(△)	<u>2,554,375</u>	387,526	△3,753	<u>2,938,148</u>	5,444	<u>2,943,592</u>	△729,995	<u>2,213,597</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びブリーフ事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△729,995千円には、セグメント間取引消去28,306千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△758,301千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。